

第38回松永杯中西部少年サッカー選手権大会 兼 NTT西日本グループカップ第52回静岡県ユースU-12サッカー大会中西部予選 要項

趣 旨	静岡県の将来を担う少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全な心身の育成・発達を目標として本大会を開催する。この大会はジュニア層のサッカー少年が自分自身で判断したり挑戦したりする体験を通して将来、困難な場面でも的確な判断ができ、正確な技術を発揮できる選手へ成長することを目指す。あわせてフェアプレー精神・リスペクト精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目的とする。
主 催	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部
主 管	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部4種委員会
協 賛	NTT西日本静岡支店 NTTネオメイト NTTマーケティングアクト NTTフィールドテクノ NTT西日本アセット・プランニング テルウェル西日本
期 日	2019年11月30日(土)、7日(土)、8日(日)、15日(日)
会 場	1次リーグは各地区会場 2次トーナメント及び松永杯トーナメントは島田市内グラウンド
参 加 資 格	① 本大会趣旨に賛同するチームであること。 ② (一財)静岡県サッカー協会に登録した12歳以下(6年生～4年生)の選手で構成されたチームで(一財)静岡県サッカー協会4種委員会各地区の予選を経たチームであること。 ③ 選手は個人登録しており、スポーツ安全保険に加入していること。 ④ 地区予選から県大会に至るまで、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することはできない。 ⑤ ベンチに入る監督、コーチは、(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有しなければならない、首からかけておくこと。 ⑥ 地区予選で1登録チームから2チーム参加した場合であって、2チームとも中西部大会に参加する場合は、その2チーム間で選手の入れ替えはできない。地区予選で1登録チームから2チーム参加した場合であって、どちらか1チームが中西部大会に参加する場合は、元の選手は入れ替えられないが、25人登録の空いている人数だけ、参加しないチームから追加ができる。
参 加 チーム	全日本県大会出場3チーム(シード)、焼津地区5チーム、藤枝地区7チーム、島田地区6チーム、榛原地区3チーム 計24チーム(県大会出場枠:11チーム)
参 加 費	3,000円/チーム
チーム編成	代表者1名、監督1名、コーチ5名、選手8名以上25名以内とし、当日、選手証等のチェックを済ませること。また、チーム編成は、試合ごとにエントリー表からコーチ3名と選手16名を決定すること。
競 技 方 法	① 3チーム8ブロックの1次リーグ戦を行い、各ブロック1位の8チームが県大会出場、各ブロック2位チームの8チームで2次トーナメント戦を行い、上位3チームが県大会出場とする。また、松永杯トーナメント戦は、各ブロック1位の8チームでトーナメントを行う。(県大会枠の抽選は、松永杯トーナメント終了後、会場で行う) ② 試合時間は、前半20分(ハーフタイム5分)後半20分とする。ただし、松永杯トーナメントは前半15分(ハーフタイム5分)後半15分とする。 ③ 1次リーグ戦は、同点でも延長は行わない。リーグ戦の順位は(1)勝点(勝3 分1 負0)(2)当該チームの対戦成績(3)得失点(4)総得点(5)抽選の順により決定する。 ④ 2次トーナメント戦で勝敗が決しない場合は、5分のインターバル後、10分間(5分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合は、1分間のインターバル後、PK方式(3人)で決定する。また、松永杯トーナメント戦で勝敗が決しない場合は、1分間のインターバル後、PK方式(3人)で決定する。
競 技 規 則	① (公財)日本サッカー協会8人制競技規則及び(一財)静岡県サッカー協会4種委員会県大会要項並びに県大会試合細則に準ずる。 ② 選手交代は交代ゾーンを設ける。また、交代人数・回数とも制限しない。一度退いた選手がその試合中に再び試合に出場することができる。(自由な交代を認める) ③ ベンチに入る交代要員はピッチ内選手と違う色彩の服を着用する。(ビブス可) ④ GK交代の場合は、アウトオブプレー中とし、主審・補助審判の承認を得て交代ゾーンより交代する。 ⑤ GKがFPへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのまま、他の選手と重複しない番号あるいは番号なしのFPのユニホームを着用する。 ⑥ FPがGKへポジションを変える場合、シャツを交換するだけで良い。また、ビブスも可とする。 ⑦ 退場者があった場合は控えの選手を補充できる。 ⑧ 一方のチームが6人未満になった場合、試合は成立しない。また、リーグ戦はそのチームの全試合結果を抹消する。 ⑨ 地区大会を通じて、退場を命じられた選手及び警告累積2回を受けた選手は、次の1試合に出場できない。 ⑩ ピッチサイズは縦60～68m×横40～50mとする。ゴールは少年用(2.15m×5.00m)を使用する。 ⑪ グリーンカード制度を導入する。
審 判	① 2人審判制とし、主審及び補助審判員とも3級以上とする。 ② 1次リーグ戦及び2次リーグ戦、松永杯トーナメント戦と、全てはチーム帯同(ベンチ入り可)とする。 ③ 審判を行う者がベンチに入る場合であっても、担当する審判の試合開始20分前には打ち合わせが開始できる状態にすること。(審判着のままでベンチに入ることは許されない。)
ユニフォーム	① 参加チームは背番号と同じ番号がユニフォームの胸又はパンツの前面(前側面)に付いた完全に異色のユニフォームを2組(正・副)用意することが望ましいが、ない場合はビブスでも可とする。 ② 背番号は1～99の整数を使用し、0.00は避ける。1番からの通し番号でなくても構わない。 ③ 縦縞、横縞のユニフォームは台地を使用し背番号が明確にわかるようにする。 ④ シャツ(GK含む)の色彩は通常、審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものとする。
試 合 球	公認4号球を各チーム持ち寄りとするが、会場によっては本部が用意することもある。
表 彰	松永杯トーナメント戦の優勝チームに、賞状、トロフィーを授与する。また、2位・3位のチームも表彰する。
閉 会 式	大会全試合終了後、松永杯トーナメント戦の閉会式を行う。
そ の 他	① 試合開始時刻に間に合わないチームは失格とする。また、試合開始10分前に選手は本部へ集合し円滑な試合進行に協力する。 ② エントリーされた選手・代表者・監督・コーチはJFAが公式に認める電子登録証(選手証又は登録選手一覧・公認指導者ライセンス証)を印刷したものを持参し、会場でチェックを受けなければならない。ただし、登録選手一覧には顔写真登録がされていること。電子登録証(選手証・公認指導者ライセンス証はD級コーチ以上を有する)を確認できない選手・監督・コーチはベンチ入りできない。 ③ 試合終了後は相手チームベンチへあいさつに行かず、直接自チームベンチへ戻り、速やかにベンチを空けること。 ④ ベンチに入る代表者・監督・コーチは常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようサポートする場となるよう心がけること。なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。 ⑤ 本大会はマッチウエルフェアオフィサーを置く。 ⑥ 本大会は飲水タイムを設けないが、ピッチサイドには給水用のボトルを置くことができる。 ⑦ 大会要項及び県4種委員会県大会試合細則に規定されていない事項は、中西部支部4種委員会にて協議の上決定する。 エントリー表は受付時に1部提出し、選手チェック用とする。また、試合開始30分前までに先発メンバーを記入したエントリー表を本部 ⑧ と相手チームに各1部提出する。 ⑨ 各地区の4種委員長は、地区大会で使用了メンバー表及び地区大会での警告・退場者を、当番地区の4種委員長に提出する。